

令和6年2月19日(月)
職員朝礼・昼礼資料

令和5年度 第2回学校関係者評価委員会 報告

- 1 日 時 令和6年2月15日(木) 15:30～16:45
- 2 場 所 本校視聴覚室
- 3 出席者 学校関係者評価委員6名, 本校職員19名

4 内容

- (1) 開会のことば
- (2) 校長あいさつ
- (3) 本年度の活動状況等について(各課程15分ずつ)
※学校評価アンケート結果報告も含む
- (4) 本校におけるスクールポリシー等について
- (5) 質疑・意見交換

<質問>

ア 関山委員(鹿児島大学准教授)

SOSの出し方教育についてどのように実践しているか。

→ (全日制)生徒指導部:学校楽シートやいじめ実態調査等で定期的に把握をしている。

下大迫教頭:スクールカウンセラーによるSOSの出し方について全生徒対象に講演を行った。

イ 玉利委員(谷山中学校長)

スクールポリシーの用語等,一般市民が理解しづらい内容と思う。誰もが分かるフレーズにしてほしい。

→ 校 長:文科省が定めたものであり,来年度策定に向けて全学校が取り組んでいる。

<意見>

ア 関山委員(鹿児島大学准教授)

SOSの出し方指導は自殺予防教育につながり,子どもに対して十分に啓発する必要がある。

県内でここまで細やかな指導(聞き合う会・学校説明会等)をしていることはなく,素晴らしいと思う。

イ 今吉委員(鹿児島南署スクールパートナー)

学校評価アンケートの結果が良く,嬉しく感じた。開陽高校は生活面も良いと思います。

ウ 玉利委員

様々な視点からアンケートの分析をし、学校経営に反映してほしい。いかに評価を4の項目を増やすかである。

エ 福德委員(西谷山コミュニティ協議会長)

アンケート結果より、生徒が先生を好きという割合が高いことに、心を打たれた。

オ 本村委員(全日制PTA会長)

入学して良かったという意見が高いのは良かった。しかし、地域に信頼されているという項目が低いのは気になった。

入試倍率も高く、開陽高校のニーズが高さを感じた。

カ 新田委員(定時制振興会長)

スクールポリシーにおいて各課程・学科ごとの違いを入れてもいいのではないのでしょうか。

キ 牧委員(通信制振興会長)

都合により欠席

(6) 閉会のことば

5 総評

生徒・保護者への細かな配慮や支援、また、正しく学校を理解してもらうための学校説明会等、全体として委員の方から励ましのお言葉をいただいた。

今回はスクールポリシー策定についても質疑していただいた。今後、6月末の県への報告に向けて、職員会議での協議を経て進めていきたい。

当日は、定時制の学校保健委員会・衛生委員会の終了後ということもあり、タイトな行事日程だったため、委員の方々にたいして会の事前・事後における対応が十分にできず、申し訳なかったため次回の反省としたい。

最後に事前の資料作成において協力してくださった先生方、また当日、会場設営・撤去にご協力くださった先生方に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。